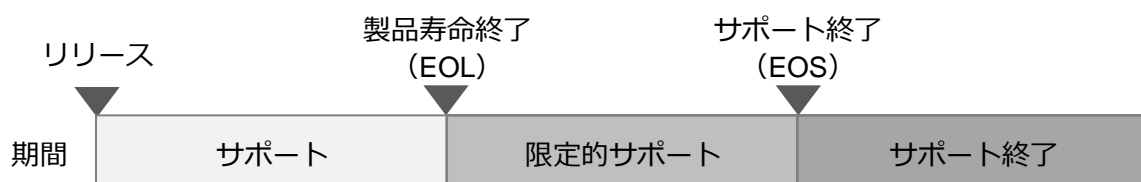


セキュリティ関連情報

本情報提供は、「医療機器のサイバーセキュリティ対策に関する情報提供について」（令和7年4月17日付け医薬機審発 0417 第1号、医薬安発 0417 第1号）に基づいています。

1. EOL/EOS について

当該製品（超音波診断装置 ARIETTA 70）における、EOL,EOS の定義を以下に示します。



<EOL/EOS 方針>

EOL（製品寿命終了）：製品に搭載されたオペレーティングシステム（OS）のベンダーによるサポート終了日

EOS（サポート終了）：製品の販売終了から7年

※EOL,EOS とは別に、医療機器の耐用期間があります。

<本製品の EOL/EOS 情報>

バージョン ^{注)}	EOL	EOS	OS
6.3.0～6.3.1、 6.0.0～6.1.1、 5.0.0～5.3.2	2023年7月11日	2027年3月31日	Windows Embedded 8.1 Industry Pro (Microsoft 社製)

注) ご使用中の製品のバージョンがご不明の場合は、当社の営業またはサービス担当者にお問い合わせください。

2. 保守計画について

●限定的サポート中（EOL～EOS）

- ・ OS 以外の対応が必要な脆弱性に対し、ソフトウェアアップデート及び脆弱性修正の提供を行います。
- ・ 実際の適用作業は、保守契約／スポットサービス請負契約に基づきサービス作業を提供します。
- ・ 一般的な不具合等の解析依頼や修正については、当社により対応必要と判断した場合に対応します。
- ・ 本期間で装置の買い替え、OS のバージョンアップを検討してください（詳細については、当社の営業またはサービス担当者にお問い合わせください。）。

●サポート終了後（EOS 以降）

- ・ 市販後監視の一環として脆弱性情報を監視しますが、薬事上の回収（改修）に該当する場合を除き、脆弱性の修正を含むセキュリティアップデートの準備・提供は行いません。セキュリティに関する責任はお客様へ移転されます。
- ・ 回収（改修）に該当はしないものの、製品に影響する深刻度が高い脆弱性（緊急性が高い脆弱性）については、情報を提供します。
- ・ その他、情報提供を求められた場合は、セキュリティアドバイザリの開示を行います。

3. セキュリティインシデント発生時の対応

セキュリティインシデント発生時には、以下のご対応をお願いいたします。

(1) 初期対応（ネットワークからの切り離し）

当社製品が接続されたネットワーク内で、セキュリティインシデントが発生した、またはその疑いがある場合、当社製品をネットワークから切り離してください。

また、当社製品の電源は切らないでください。

(2) 状況の把握・サービス担当者への連絡

以下の A～F の観点で、被害の範囲や状況を可能な範囲で確認し、サービス担当者へ、これらの情報のご提供をお願いします。

- A. 医療機器の設定情報の不正な変更
- B. 診断・治療に対する不正な変更又は無効化
- C. 機密データの喪失、改竄又は開示
- D. 医療機器の機能停止、誤動作又は不正動作
- E. 他の機器・システムへの拡散
- F. マルウェア感染の疑い

(3) 措置・復旧

医療機関内の管理者の判断に基づき、サービス担当者と連携して、ウイルススキャンや

マルウェア除去等の適切な措置を行ってください。当社製品が正常に動作することを確認した後、管理者の判断により、ネットワークへ再接続して、製品の使用を再開してください。

以上